

外国人児童生徒教育の基本的な考え方

- 外国人児童生徒等に対する教育支援は**全ての自治体・学校・教員が今後直面しうる課題**
- 学校教育を通じた**社会への適応、経済的・社会的自立、グローバル人材育成**
- 日本語指導、学校生活への適応指導、学力保障の観点からの総合的な「**外国人児童生徒教育**」の必要性
- **国・自治体・学校・地域のNPOや大学等の適切な役割分担・連携**による指導・支援体制の構築
- 多様化する**児童生徒に応じたきめ細かな指導**、教員養成・研修を通じた**外国人児童生徒教育を担う人材育成**
- 外国人児童生徒等の**ライフコースの視点に立った支援、ロールモデルの提示**

	主な提言事項
1. 学校における外国人児童生徒等に対する日本語指導体制の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「<u>拠点校</u>」等の事例・モデルの把握・普及。特に散在地域において、「<u>拠点校</u>」等を中心とした広域の指導・支援体制の構築を一層促進 ◆ 日本語指導・教科指導・生活指導・支援員のコーディネート等の役割を果たす、外国人児童生徒教育を担当する教員の配置の拡充 ◆ 日本語指導支援員や母語による支援員となり得る地域の人材ネットワーク形成を促進 ◆ 地域のNPO、大学、社会教育、福祉等の関係機関との連携・協働の促進
2. 日本語指導に携わる教員・支援員等の養成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教員養成学部等の課程・現職教員研修を通じた外国人児童生徒教育担当教員の専門能力養成のモデル・プログラムの開発・普及 ◆ 教職大学院等と連携した現職教員の専門能力養成のための研修プログラム（履修証明等）の構築を促進 ◆ 日本語教育や外国語によるコミュニケーション等の外部専門人材に対し、学齢期の児童生徒の日本語・教科・生徒指導上の基礎知識に関する研修機会の充実
3. 日本語指導における指導内容の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ノウハウに乏しい学校・教員が「JSLカリキュラム」による指導を行うための、<u>初期対応用の指導案・教材案パッケージ</u>の作成 ◆ 中学校におけるJSLカリキュラムによる指導の在り方の検討（母語による通訳を介した教科指導、学び直しのための日本語・教科指導） ◆ 各学校で開発・蓄積された教材の共有・活用の促進（教材検索サイト「かすたねっと」の機能改善・強化）
4. 外国人の子供の就学の促進及び進学・就職への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 幼稚園・保育園等との連携による就学前からのきめ細かな就学ガイダンス・日本語初期指導（プレスクール）等の取組推進 ◆ 企業等と連携した外国人児童生徒のための進路指導・キャリア教育・インターンシップ等の取組の推進 ◆ 外国人児童生徒等が多数在籍する小・中学校における「<u>教育課程特例校</u>」等の制度の活用 ◆ 高校段階における在留外国人・日本人生徒へのグローバルな環境で外国語での授業等を通じた人材育成